

かけはし

福島市立平田小学校 学校だより No.16

文責：校長 佐藤 裕子



✿ PTA 教養講座「健やかな心と体づくり教室」開催

魂に響くギフトコンサートの会(会長:元平田小学校長 慶徳秀夫先生)の皆様においでいただき、11月22日(火)「健やかな心と体づくり教室」(保護者24名参加)を行いました。ヨガで身体をほぐして声を出したり、美しい歌声に癒されたり、皆で心地よい時間を過ごすことができました。PTA本部役員、教養委員会の皆様、ご尽力ありがとうございました。



【会員の声】

～アンケートのご協力、ありがとうございました～

- プロの方のパフォーマンスを間近で見聞きできて、感動しました!
- もともとヨガに興味があり、有名な先生ということで、ワクワクしながら受講出来ました。
- ヨガで身体をストレッチ&リラックスした後、オペラを聴いて心が和み、大きな声を出して歌を歌い心底癒されました。
- 今回のように、親子で体を動かすような機会がもっとあればいいなと思いました。
- 子供の反応を間近で見ることができると、親子で参加できる内容が良いと思います。ただ、親御さんが参加できないお子さんは、寂しそうにしていました。子供が一人にならないようにグループで活動できる内容などを検討しても良いのかなと感じました。

ひらた豆知識① 【ハートサポート相談員】

市内全中学校と一部の小学校には、スクールカウンセラー(SC)がいます。SCが配置されていない小学校には、ハートサポート相談員(HS)がいます。本校には、HSとして齋藤真由美さんが、月に2回程度勤務してくださっています。(平石小・吉井田小・金谷川小と掛け持ち)出勤されると、いつも優しい笑顔で子供たちを見守り、困っている児童にはそっと寄り添ってアドバイスしたり、声をかけたりしてくださっています。また、「今日のピカッさん」として、「算数の課題を黙々と解答していたKさん。悪戦苦闘するも諦めず何度も挑戦していました」等、いつも平田小の子供たちの良いところをたくさん見つけて褒めてくださいます。ありがとうございます。



～お知らせ～ 新型コロナウイルス 【給食時の感染対策】

- ・飛沫感染防止に努め、適切な換気を行います
- ・複式学級使用のパーテーションを外します
- ・座席はこれまで同様です
- ・小声で会話することは妨げません

我が国の伝統文化に親しむ



11月21日(月)に5・6年生12名が、平石小の皆さんとともに、国登録有形文化財である矢吹邸(成川)を訪問し、茶道体験・箏体験を行いました。“礼にはじまり礼におわる”日本の伝統文化に触れ、充実した一日となりました。これは、信夫学習センターのご支援をいただいております。

また、学校では音楽の授業で、3・4年生と5・6年生が箏に挑戦しました。箏を使って皆で即興演奏を行ったり、歌いながら「虫づくし」や「さくらさくら」を演奏

したりして楽しみました。本物の箏を二人で1面使用でき、とても効果的に授業を行うことができました。これは、教頭先生が県教育センターから9面の箏を借用してくださったお陰です。



平田小学校の教育活動は、様々な人の尽力・協力に基づき成り立っています。「見えない力(縁の下の力持ち)」に感謝します。

《ひらたプライド・授業紹介コーナー⑤》

12月6日(火)2校時、5年生の国語科の授業(授業者:大関先生)におじゃましました。教材『大造じいさんとガン』の要旨を丁寧に読み取り、朗読で登場人物の心情や情景を表現しようという単元構成です。これまで読み深めてきたことをもとに、各自、一番心に響いた場面を選びました。Ⅲの場面が4人、Ⅳの場面が4人、6日はⅢの場面の発表が行われました。



「登場人物の気持ちがわかるように朗読するには、どのように工夫すればよいだろう」という問いのもと、【朗読のポイント】を確認しました。

- 声の大きさ ○ 読むはやさ
- 声の出し方 ○ 間の取り方 等



【自己評価・相互評価】

友達の発表を聞いて、良かった点・改善点について付箋紙に書き出し、意見交換を行います。また、iPadで自分の発表を録画し自己評価につなげます。ほどよい緊張感が生まれます。先生もアドバイスをメモしながら評価します。



「音読と朗読は違います」という大関先生の指導に、くらくら5年生。音読は、いかに正確・明晰・流暢(正しく・はっきり・すらすら)に声に出して原稿を読み上げるか、朗読は音声でいかに感情や作品の特性を表現するか。「どうすれば相手に伝わるか」試行錯誤しながら工夫して朗読する子供たちが、たくましく見えました。

今後も5年生に限らず、相手意識を大事にして「自分の考えを伝える力」を磨いていきたいと考えています。